

# 札幌皮膚病理研究所ニュース

2005年8月号



～今月の研修生をご紹介致します～

前列右：阿部 浩之先生（自治医科大学皮膚科）



7月21日 皮膚を見る会 開催  
毎月第三木曜日、当研究所に札幌市近郊の皮膚科医が集まり、症例検討を中心とした勉強会を行っています。



7月9日 札幌市内のライブハウスにて 木村所長の「Glass onion」と安齋副所長の「Rolling twins」の合同ライブが開催されました。日ごろの練習成果を発揮し、たくさんのご声援をいただきました。



MC中の安齋副所長。息子さんとの共演に感激しております。

Rolling twins



Grass onion



熱唱中の木村所長。この日のために、日夜練習していたのです。

第21回日本皮膚病理組織学会にて学会発表を致しましたので、発表内容をご紹介致します。

Erythema elevatum diutinum 福本隆也、安齋眞一、木村鉄宣、榎本美生、山本純照

患者：60代、女性。主訴：肘部、両手背の結節。既往歴：特記すべきことなし。家族歴：特記すべきことなし。現病歴：3～4年前より右肘頭部、両手背に小結節を多発して認めるようになり、徐々に増大してきたため、近医より紹介され当科を受診した。現症：肘頭部では母指頭大の弾性硬の結節が2個存在し、両手指背にも米粒大から大豆大の丘疹が散在していた。自覚症状はなかった。肘の結節を単純切除した。病理像では、真皮全層にわたって紡錘形の細胞が増加し、多数の好中球を含む密な炎症細胞浸潤を伴っていた。

新しい論文が掲載されました

村澤章子、木村鉄宣  
表皮に異型性のある角化細胞が出現する良性疾患の  
結節性筋膜炎71例の病理組織学的検討  
臨床皮膚科：59(7), 589-595, 2005

木村鉄宣  
表皮内水疱および膿疱を呈する皮膚炎：  
Intraepidermal vesicular and pustular dermatitis  
病理と臨床：23(7), 737-742, 2005

今後のスケジュール

2005,7,30

勉強会：ダルマ会

会場：札幌第一ホテル

2005,8,18

勉強会：皮膚をみる会

会場：札幌皮膚病理研究所

2005,8,20

演題発表：第1回加齢皮膚医学研究会

座長：木村鉄宣

「顔の有棘細胞癌」発表者：安齋眞一

会場：札幌医科大学記念ホール

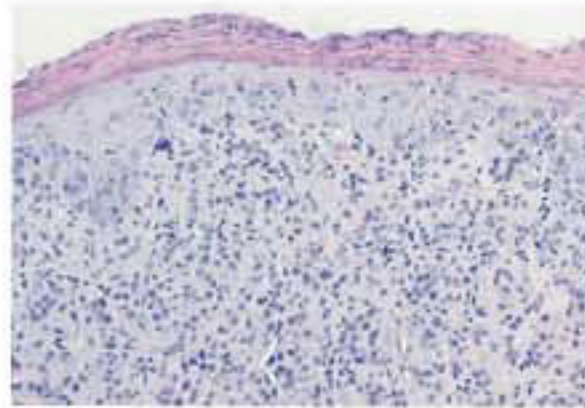
# 今月の症例

## Lichenoid persistent pigmented purpuric dermatitis (Gougerot-Blum)

44才, 女性 生検部位: 大腿 臨床診断: 記載無し  
 病理診断: Lichenoid persistent pigmented purpuric dermatitis (Gougerot-Blum)

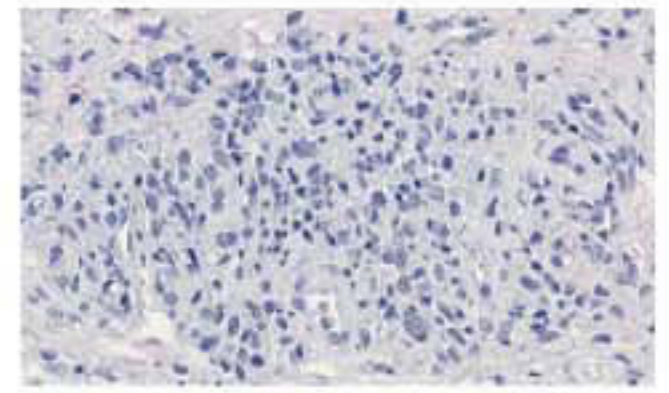


真皮全層の血管周囲と膠原線維間に帯状の炎症性細胞浸潤を認める。

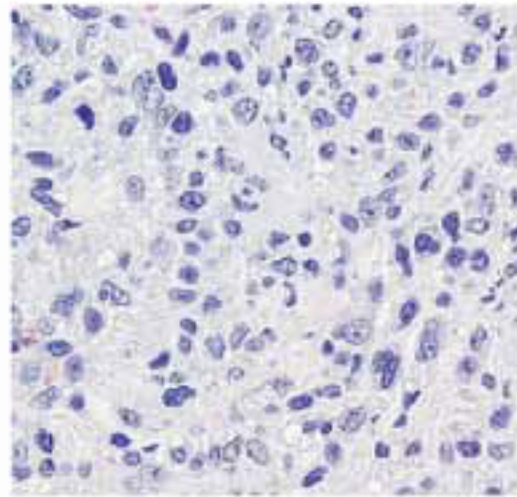


真皮表皮境界部が不明瞭になっている。表皮には肥厚や parakeratosis が認められる。

浸潤細胞はリンパ球、組織球が主体である。赤血球の血管外漏出が著明。



血管周囲にも炎症が著明。赤血球の血管外漏出も見られる。



浸潤細胞には核の異型を伴うものもある。

### 第9回 病理診断クイズ スタート!

当研究所ホームページにて7月より9月末まで、毎週2例ずつ出題いたします。見事1位を獲得された方には A Clinical Atlas of 101 Common Skin Diseases (AUTHOR: A. Bernard Ackerman, M.D.) を差し上げます。ぜひ、あなたの診断をご投稿下さい



### 開催セミナーのご案内 皮膚病理指導医養成講座 (開催地: 札幌)

- 研修医を指導するために必要な皮膚病理学/皮膚病理の専門性を高めたい医師向け 入門編
- ・第1部 炎症性皮膚疾患 早期申込割引受付締切-8/2 (火)  
 日時 2005年9月3日(土) 9時~17時、4日(日) 9時~17時
  - ・第2部 非炎症性皮膚疾患 早期申込割引受付締切-10/25 (水)  
 日時 2005年11月26日(土) 9時~17時、27日(日) 9時~17時
- 場所 北海道大学医学部 第3講堂 定員 50名ずつ  
 参加費 1部 32,000円ずつ (早期申込割引参加費: 28,800円)  
 ※第1・2部 同時申込の場合・・・2つで55,000円 (早期申込割引参加費: 49,500円)
- 講師 木村 鉄宣 (札幌皮膚病理研究所 所長)、安齋 眞一 (札幌皮膚病理研究所 副所長)
- 目的 ・皮膚病理学や皮膚病理診断学を指導するために必要な技術、知識を習得する皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握する。・疾患概念が確立していない疾患をどう把握するか検討する。・顕微鏡の操作方法を修得する。・各種特殊染色と免疫組織染色の特徴と結果の評価の仕方を習得する。
- 方法 ・スライド映写による講義・顕微鏡を利用した標本検討のデモンストレーション  
 ・あらかじめ供覧された症例の検討
- 対象者 ・皮膚科と病理科で、皮膚病理診断を担当している医師・研修医に皮膚病理を指導する役割のある医師  
 ・皮膚病理に興味のある医師

### 取り扱い疾患

第1部 炎症性皮膚疾患  
 spongiotic dermatitis  
 vesicular and bullous dermatitis  
 intraepidermal vesicular dermatitis  
 suprapapillary vesicular dermatitis  
 Interface dermatitis  
 vacuolar dermatitis  
 lichenoid dermatitis  
 psoriasisiform dermatitis  
 nodular and diffuse dermatitis  
 granulomatous dermatitis  
 vasculitis  
 folliculitis  
 panniculitis  
 alopecia

第2部 非炎症性皮膚疾患  
 epithelial neoplasms  
 follicular neoplasms  
 sebaceous neoplasms  
 apocrine neoplasms  
 eccrine neoplasms  
 melanocytic neoplasms  
 fibrohistiocytic neoplasms  
 vascular neoplasms  
 neural neoplasms  
 smooth muscle neoplasms  
 striated muscle neoplasms  
 adipocytic neoplasms  
 osseous neoplasm  
 lymphoma & pseudolymphoma  
 deposits & degeneration

ホームページ・E-mail・FAXにてお申込みください

札幌皮膚病理研究所  
 〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL 011-756-4810 FAX 011-756-4842  
 E-mail office@sapporo-dermpath.com Website www.sapporo-dermpath.com